

今日から使える知識をこの一冊に！

早期購入特別価格のご案内



ビジュアルガイド 実験動物の感染症と微生物モニタリング

公益社団法人 日本実験動物協会 編 発行：アドスリー 発行日：2026年4月30日
ISBN978-4-910513-26-3 C3047 定価：13,200円（本体12,000円＋消費税10%）

早期購入特別価格 ~~13,200円~~ → **9,900円**（税込）

特別価格販売期間：～2026年6月30日（火）

※生協・書店等では実施いたしません。必ず特設フォームよりお申し込みください。

特設フォーム <https://www.adthree.com/monitoring/index.html>

※発送は6月上旬からを予定しています。



■ 書籍について

「実験動物の感染症と微生物モニタリング」（平成27年発行）の増補改訂版。約10年ぶりの改訂となる本書では、新たな病原体の項目を追加したほか、PCR法を用いた新たなモニタリング計画を検討する際の注意点などを新たに加えました。

微生物モニタリング検査業務を担当する方だけでなく、実験動物に携わる技術者にとって必見・必携の書籍です。写真・表を多く掲載しており、実験動物1級技術者を目指す方々にも参考図書としてお勧めです。

■ 目次

I. 微生物モニタリングの意義

II. モニタリング計画の立て方

- モニタリングの目的
- モニタリング計画の立て方
 - 検査対象微生物の選択
 - 検査方法の選択および利点と欠点
 - 検査頻度
 - サンプリングと検査対象動物の選択
 - モニタリングの実施

III. 検査手技

- 検査材料採取手順
 - 臨床症状の観察
 - マウス・ラット・ハムスターからの検査材料採取手順
 - モルモット・ウサギからの検査材料採取手順
- 細菌同定法
- 血清反応
- 遺伝子増幅法
- IVCシステムの微生物モニタリング資料 市販寒天培地、同定試薬一覧

IV. 微生物汚染確定後の対応

V. モニタリング対象微生物のプロファイル

- ウイルス
 - センダイウイルス
 - マウス肝炎ウイルス
 - 唾液腺腺炎ウイルス
 - エクトロメリアウイルス
 - ウサギボックスウイルス
 - ハンタウイルス
 - リンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス
 - マウスアデノウイルス
 - マウスロタウイルス
 - マウス肺炎ウイルス
 - バルボウイルス
 - マウスノロウイルス
 - マウス脳脊髄炎ウイルス
 - マウスレオウイルス3型
 - 乳酸脱水素酵素上昇ウイルス
 - マウスアストロウイルス
 - ポリオーマウイルス
- 細菌・真菌
 - 肺マイコプラズマ
 - ティザー菌
 - サルモネラ
 - 腸粘膜肥厚症菌

- 5) 肺パスツレラ
 - 6) パスツレラ
 - 7) ネズミコリネ菌
 - 8) コリネバクテリウム ポビス
 - 9) 気管支敗血症菌
 - 10) ボルデテラ ヒンジイノシュードヒンジイ
 - 11) 肺炎球菌
 - 12) 溶血性レンサ球菌
 - 13) 緑膿菌
 - 14) 黄色ブドウ球菌
 - 15) ヘリコバクター
 - 16) 仮性結核菌
 - 17) フィロバクテリウム ローデンティウム：カーパチルス
 - 18) クレブシエラ
 - 19) 皮膚糸状菌
 - 20) ニューモシスティス
3. 寄生虫
 - 1) 消化管内原虫
 - 2) 蟻虫
 - 3) 外部寄生虫
 - 4) コクシジウム

参考資料・引用文献・参考文献

■ お申し込み方法

申込方法	特設フォームよりご注文ください。（生協・書店等では実施いたしません）
申込締切	2026年6月30日（火）お申し込み分まで
お問い合わせ	株式会社アドスリー（書籍担当）principal@adthree.com

実験動物技術者・実験動物管理者、必携の書！